

一般会計737億円8千万円 特別・病院合わせて1337億円

2月議会
2月22日～
3月21日

今週の活動から



2月17日(日)愛甲宮前公民館で12月議会報告会を開催。憲法改正、防災、市立病院、企業融資、保育所民営化、生活保護、現市長の評価など多くの質問や意見が出されました。(左:釘丸久子議員、右:栗山香代子議員)

2月議会の予定

- 2月22日(金) 議会運営委・本会議
25日(月) 本会議
3月 1日(金) 一般質問(第1日)
4日(月) 一般質問(第2日)
5日(火) 一般質問(第3日)
7日(木) 総務企画常任委員会
8日(金) 市民福祉常任委員会
11日(月) 環境教育常任委員会
12日(火) 都市経済常任委員会
13日(水) 常任委員会予備日
15日(金) 議会運営委
21日(木) 議会運営委・本会議

時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。

平成25年度予算案

		平成25年度	平成24年度	比較増減
一般会計		7 3 7 億8000万円	7 3 6 億0000万円	1 億8000万円
特別会計	公共用地取得	3 億6584万円	3 億7161万円	△577万円
	後期高齢者医療	1 8 億8200万円	1 9 億2100万円	△3900万円
	国民健康保険	2 5 3 億4600万円	2 4 3 億9000万円	9 億5600万円
	介護保険	9 6 億5900万円	9 1 億6900万円	4 億9000万円
	公共下水道	5 8 億0700万円	5 8 億4200万円	△3500万円
	病院事業	1 6 8 億7301万円	1 0 8 億9923万円	7 2 億3850万円
合 計		1 3 3 7 億1286万円	1 2 6 1 億9435万円	7 5 億1850万円

厚木市議会2月定例会が2月22日～3月21日まで開催されます。この議会は主に新年度予算を審議します。

平成25年度の厚木市の一般会計予算は737億8千万円で、平成24年度よりも1億8千万円(0.2%)増えています。

後期高齢、国保、介護、下水道、病院事業などの特別会計を入れた総額では1337億1286万円です。前年より75億1850万円(6.0%)の増額になっています。

一般会計から特別会計への繰

計にはダブリ

出金があります。特別会計ではそれを繰入金(収入)として計上しますので、その分を差し引かないと実際の金額にはなりません。

国民健康保険事業に26億7千万円、介護保険事業に14億1679万円、下水道事業に17億2564万円など、合計62億9062万円を繰り出していきます。これらを差し引いた純計では1274億2223万円です。

このように一般会計と特別会計にはダブリ

平成25年度一般会計予算案 主な歳入

	主な市税の項目	平成25年度	平成24年度	比較増減	構成比(%)	
					25年度	24年度
市 税 425億3163万円 構成比 57.6%	個人市民税	141億8300万円	142億4349万円	△6049万円	33.3	33.4
	法人市民税	42億6898万円	45億2921万円	△2億6023万円	10.0	10.6
	固定資産税	193億5680万円	193億2667万円	3012万円	45.5	45.3
	市たばこ税	20億3600万円	19億2900万円	1億700万円	4.8	4.5
	都市計画税	24億300万円	23億8525万円	1774万円	5.7	5.6
国庫支出金		13.9%	102億3312万円	100億9632万円	1億3679万円	
市 債		6.1	44億9560万円	50億4219万円	△5億4659万円	
県支出金		4.8	35億8597万円	38億5724万円	△2億7127万円	
地方消費税交付金		3.9	28億8000万円	27億0000万円	1億8000万円	
繰越金		0.7	5億0000万円	8億0000万円	△3億0000万円	

ら、大きく見えます。

また、平成25年度から小中学校の給食費が「公会計」となり、市が徴収事務をおこないます。その金額は7億1351万円で、給食調理経費として使われます。

景気が冷え込み、厚木市の税収が落ち込んでいるなか、昨年より一般会計予算が若干増えています。その中身をしっかりと分析する必要があります。

